

2021年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市 目標】

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
- いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

- 学びに向かう意欲を高める授業改善(5,6年生教科担任制、認知機能トレーニング等)
- 家庭や地域と連携し、学ぶ楽しさを実感できる環境づくりに努め、知識を活用できる力を養う。
- 違いを理解し、仲間の気持ちを自分事としてとらえ、ほのぼのとした人間関係を築き合う。

【現状と課題】

- 視点1 子どもたちは知識を受け入れることに真面目である。ただ、その受け身的な姿勢を変えるためには、自ら問題を解決し、追求していける実感を伴うときどき感じる授業改善が必要だ。
- 視点2 学級によって差はあるが、グループ活動等楽しく取り組める。しかし、間違ふことや笑われることに対する抵抗から考えを積極的に表現しない子もいる。違いを認め合え、自分の言葉で語れる学級づくりに努めたい。
- 視点3 教職員の教育熱は熱い。ただ、質的に個人差が大きいので、質の向上を図る研修の取り組みを継続する。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自ら発信する力」を育成する。 ・基礎、基本的な知識、技能を習得するための学習を繰り返す。 ・考える時間を十分に保障する。 ・自分の考えを、根拠をもとに自分のことばで説明できる場づくり。 ・学びのふり返りの充実。 ・学びの楽しさの実感。 ・「読む」「書く」力をつける。(新聞活用) ・5,6年生教科担任制の検証。 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○互いの違いを認め合い、自分の考えや思いを、安心して表現できる学級、学校経営づくりに努める。 ・他人事を自分事としてとらえられる感性を養う。 ・相手の思いを聞く力をつけ、聞き方や相手の意見をもとに自分の考えを言えるようにする。 ・道徳教育と体験活動を充実させ、温もりのある人間関係づくりに努める。 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「チーム貴生川」を意識して、臨機応変に動ける体制づくり。 ・全教職員が自ら研鑽を積み、資質向上を図る。 ・校務分掌を有機的に機能させる工夫を行う。 ・コミュニティ・スクールをもとに、保護者、地域の方との協働を強める。 ・柔軟性と適応力を備える

その他 取組事項

教職員も子どもも、確かな人権感覚が持てるよう、虫の目、鳥の目、魚の目で見方・考え方を鍛える。

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体		前期：学学調査→県平均以上、アンケート等 後期：学びの基礎チャレンジ、アンケート等		
視点1	学びの楽しさが実感できる	学学質問紙、授業アンケート等「○○の授業はよくわかりますか、楽しいですか」 →当てはまる90%以上		
視点2	互いの違いを認め合い、自分の考えや思いを、安心して表現できる学級、学校経営	<各種アンケート> 学校がとてまたのしい90%以上		
視点3	全教職員が自ら研鑽を積み、資質向上を図る	研修内容(授業、児童理解、各種教育、新学習指導要領、危機管理等) →とてまためになった90%、何かに活かせた		
その他	人権学習	校内人権の日の成果(児童ふり返り) →生活に連動した具体的表記75%以上		

評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

今年度の取組の課題	来年度に向けての対策